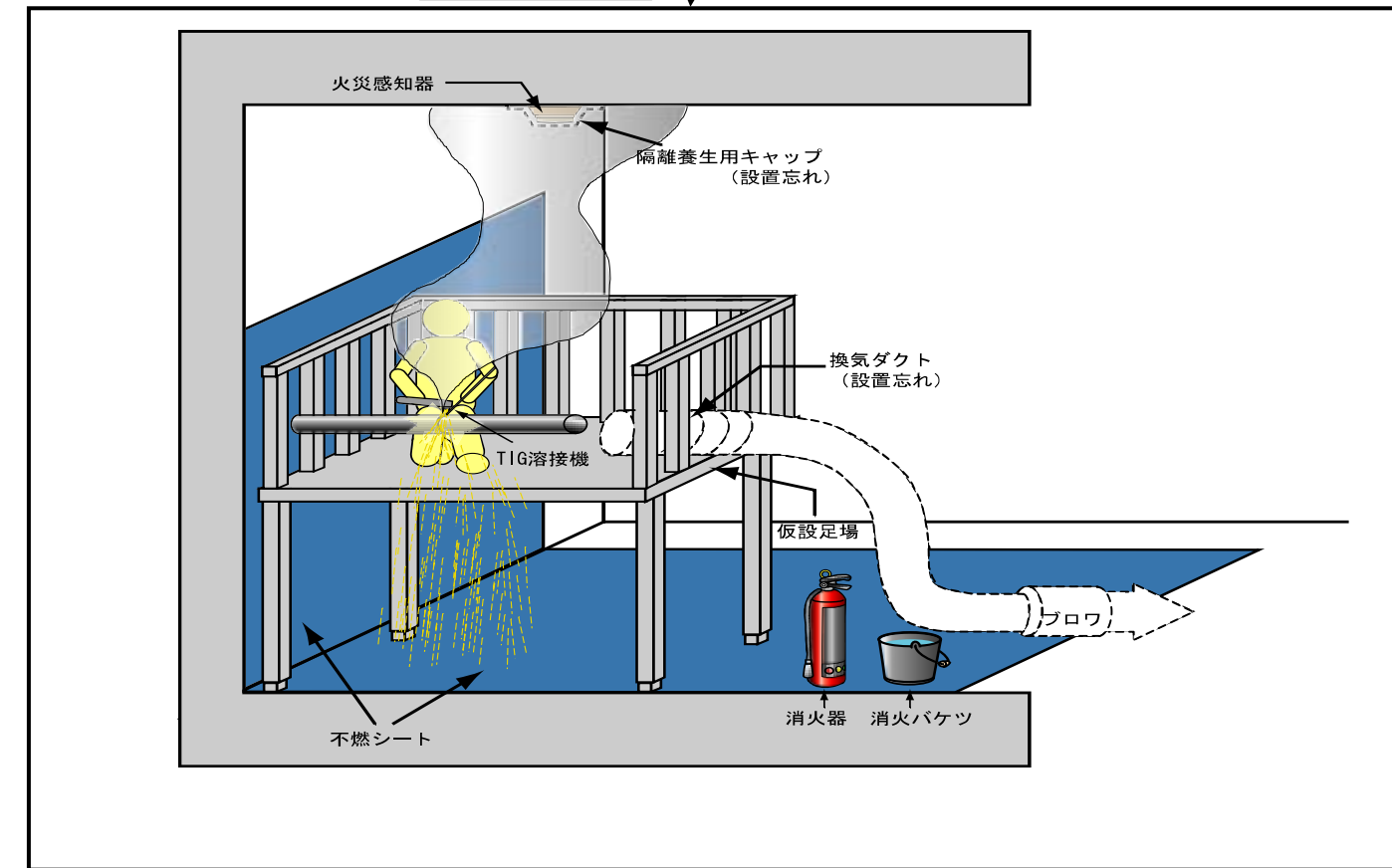
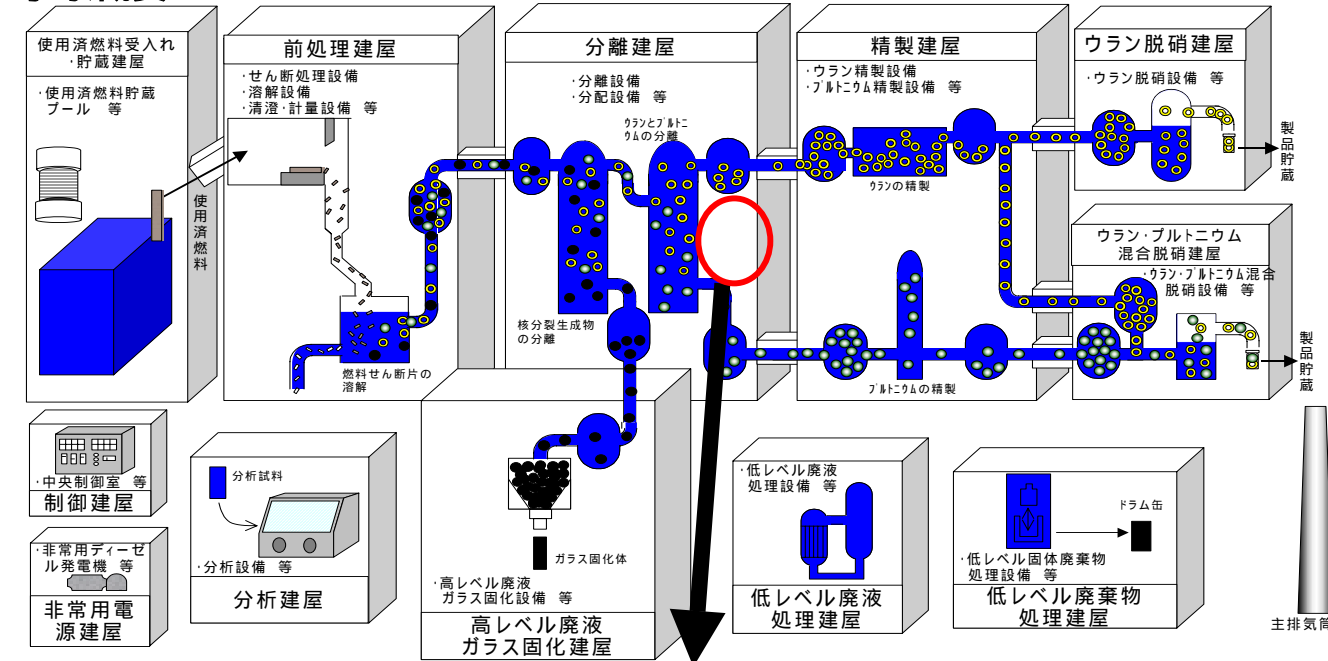


再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.9-11)

<p>件名</p>	<p>火気作業時における火災報知器の発報</p>												
<p>事象の概要</p> <p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 設備の概要</p> <p>(3) 発生の状況</p> <p>(4) 概要</p> <p>(5) 原因</p>	<p>分離建屋: 非放射性配管</p> <p>冷却水等の建屋内に設置している配管。</p> <p>保守、補修作業における配管溶接時</p> <p>配管の溶接作業開始前に換気ダクトの設置、火災感知器の隔離養生を忘れていたため、当該作業において発生した煙を火災感知器が感知し、火災警報が作動</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p> <p>溶接作業開始前に必要な養生をし忘れる作業ミス。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1) 工場外への影響</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p>(4) 他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分離建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、保守、補修作業の対象は必要な隔離措置を行うため、本事象では放射性物質の漏えいはない。</p> <p>安全上の問題は生じない。 火災報知器の誤報であり、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 火災報知器の誤報であり、作業員への影響は生じない。</p> <p>他工程への影響は生じない。 火災報知器の誤報であり、他工程への影響は生じない。</p>												
<p>対応の概要</p>	<p>(1) 実火災がないことを確認する。</p> <p>(2) 配管の溶接作業開始前に必要に応じて、換気ダクトの設置、火災報知器の隔離養生(作業中は火気監視員が常駐)を行った後、作業を再開する。</p>												
<p>公表区分*1</p>	<p>毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)</p>												
<p>情報区分*1</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <td>A情報</td> <td>B情報</td> <td>C情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

事象概要



復旧方法

誤報であることを確認後、養生の実施を行う。

トラブル等に伴う設備への影響範囲

設備に関するトラブル等ではないため、設備に影響なし

設備

機器 タンク

運転継続

*1 'A情報':安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、'B情報':事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、'C情報':A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象